

白井川地区コミュニティセンター改修事業実施設計（案）

1 事業の主旨・目的

現会館は、青少年の健全育成と情操の涵養に資することを目的に、昭和 49 年に白井川青少年会館として建設されました。

以来、研修室と和室は地域住民・団体の行事や集会、子育て、診療、各種説明会等の場として、また、事務室は各種証明書の発行や税の収納事務等を行う熱郭支所として使用してきました。

築後、半世紀近くが経ち、著しい老朽化に加えて耐震基準も満たしておらず、段差の多い作りともなっています。

また、当該地域では過疎化と高齢化が加速しており、地域課題として住民生活に欠かせない「熱郭郵便局」の存続と、非常時における身近で安全な「避難場所」の整備が挙げられています。

こうした諸課題を解決し、幅広い世代の方々が安心して利用できる施設となるようリノベーションをするとともに、支所機能の維持及び郵便局の存続に向け、当該施設への郵便局の入局（予定）に対応したコンバージョンを行う必要があるため、現会館を地区コミュニティセンターに改称し、改修することとしました。

以上のことを踏まえて、地域住民や関係者などと協議を重ね、次のとおり建物を改修します。

2 事業概要

（1）敷地

①場 所 黒松内町字白井川 8 番地 268、8 番地 302

②敷地面積 2,137.5 m²

（2）改修計画【図面添付】

①工 事 種 別 耐震補強及び建物改修工事

②主な工事内容

基礎補強等の耐震性向上、屋根葺き替え、床段差改修（バリアフリー化）、

サッシ断熱化、LED化、浄化槽設置、トイレ水洗化、多目的トイレ新設、C棟集会室内の間仕切り壁の一部撤去、A棟ステージ横に備品収納スペース設置、内装一式、外装（断熱材設置含む）一式、D棟入局（予定）対応改修、天井断熱補強、外構整備など

③延べ床面積 511.13 m²

3 概算事業費（平成30～31年度）

約1億8,700万円

（耐震診断・耐震診断実施設計（入局対応設計含む）、工事監理、耐震改修・大規模改修・入局対応改修工事、外構工事、備品購入等）

4 工事のスケジュール

平成30年度 耐震診断・耐震診断実施設計（入局対応設計含む）済み

平成31年度 6～12月 建物・外構工事、工事監理

※入局（予定）及び新施設の使用開始は平成32年1月の見込み

